

新病院建設工事費増額の要因分析

1. 前提条件

- 基本計画とは条件や概算の精度が異なるため、令和元年度に行った「船橋市立医療センター建替基本設計発注準備業務委託（以下、「発注準備」という。）により算出した概算工事費との比較により要因を分析した。
- 発注準備との比較で分析しきれない部分は、設計者が手掛けている自治体病院との比較により要因を分析した。

2. 概算工事費の差



3. 増額要因の分析

STEP-1：物価上昇による影響を分析【建築物のみを対象】

- ・ 今回の概算工事費を発注準備時の価格に置き換えた時の差額。

STEP-2：面積の差による影響を分析【建築物のみを対象】

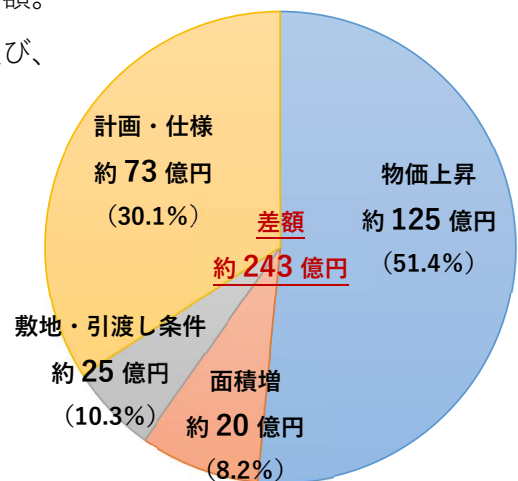
- ・ 発注準備時との延べ面積の差に床面積単価を乗じた額。

STEP-3：敷地条件・引渡し条件による影響を分析

- ・ 基本設計では地盤調査結果を踏まえた地盤改良仕様としたこと、また、改良範囲を見直したことによる額。
- ・ 想定していた引渡し条件の違いによる造成工事及び、病院本体土工事の額。

STEP-4：計画・仕様による影響を分析

- ・ 設計者が手掛けた事例と比較して、増額要因と考えられる項目を抽出した額。
 - 原則個室化による建具や衛生器具等の増加
 - 感染症対応（可動間仕切り、換気設備等）
 - 敷地条件による建築物躯体・基礎仕様の差
 - モデルと比較して多い内外装工事
 - モデルでは別工事としている設備工事 など



増額要因の分析結果